

〈Pulsus〉

「レファレンス」と図書館スタッフ

現在、私は「レファレンス」業務を統括する立場にある。レファレンス業務は平たく言えば、よろず情報探索の手助けであり、簡単に回答できるものから苦勞するものまで幅広い。調査に手間のかかるものは凡そ毎月十数件程寄せられ、利用者支援課員（私含め11名）やその他の図書館スタッフ（更には学内他箇所）の協力を得ながら日々対応している。

多くの方のイメージとして、こういったレファレンス業務は本や図書館に精通したベテランのスタッフが対応している、ではなかろうか。勿論、本や図書館に精通したスタッフもいるが、必ずしもそういったスタッフばかりではなく、日々の調査回答に苦勞することもある、というのが実情である。

以前、いわゆるコンサルタントを生業としている知り合いと（飲み会の場で）話す機会があり、面白い話を聞いた。コンサルの仕事の大半は斬新な企画を相手に提案するというものではなく、むしろ地道な「整理整頓」らしい。大方の企業（これは人と置き換えても良い）では、自分たちでは整理整頓するのがどうも難しいようで、第三者がそれを行う（もしくは手助けする）だけで、業務効率が改善し売り上げ等が向上する、とのこと。これはレファレンス業務にも当てはまるな、と感じた。なかなか質問者本人では気づけない点も、我々が第三者として冷静に調べてみると、有用な情報を発見できることがある。また、特定の分野の専門家としてではなく、日々幅広い分野の質問を扱っている我々としてはごく当たり前の検索ツールやレファレンス用の資料類も、一般には知られていないことが多い。

我々図書館スタッフはこの世の中のありとあらゆる情報に精通している訳では無く（そうありたいとは思いますが…）、むしろ自らの無知を前提とした愚直とも言える調査行動によって、質問者が発見できなかったものを見つけだせることがあるのだろう。もちろん毎回見つけだせる訳では無いのだが。

これからも無限とも言える学術情報にしっかり向き合いつつ、基礎的な作業を地道に行っていきたい。

鈴木 努（利用者支援課長）

〈図書館日誌：2023年1月～8月〉

- 2.2 電子媒体検討委員会（第3回）[オンライン]
- 2.4 春季休業期間につき開館時間短縮（3/31まで）
- 3.1 図書連携協議会（第4回）[オンライン]
- 3.3 学習支援連携委員会（第2回）[メール審議 3/17まで]
- 3.23 企画展示「或る天才詩人の短くも美しき一生—河田誠一、または結核と戦争の時代における青春展—」（4/28まで）
- 4.3 Library Weekを開催（4/25まで）
- 5.8 図書館情報検索ワークショップ2023年度春学期を開催（7/7まで）
- 5.17 西早稲田・早稲田キャンパス間の取り寄せサービス拡大
- 6.15 電子媒体検討委員会（第1回）[オンライン]
- 7.3 図書連携協議会（第1回）[オンライン]
- 7.18 夏季長期貸出（9/10まで）
- 8.1 夏季休業期間につき開館時間短縮（9/20まで）
- 8.5 オープンキャンパスに伴う中央図書館自由見学（8/6まで）

〈ライブラリー・ウィークのご案内〉



図書館の利用促進を目的とした新入生歓迎イベント「ライブラリー・ウィーク」。2023年度秋は、来館型のイベントとしてライブラリーコンサートや展示、また、ひとことカードやナゾトキゲーム（続編）のような参加型企画もあります。中央図書館、戸山図書館、理工学図書館、所沢図書館で、それぞれイベントをおこないます。10/2から10/20までの3週間、ぜひ図書館にお越しください！

※詳細は 図書館 Web サイトでご確認ください。